

2021(年度)事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

認定NPO法人アンビシャス

I 事業実施の方針

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がける。2021年度はコロナ禍における「相談・支援」の向上を重点的に各種講演会、研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目指した。

1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

コロナ禍における「相談・支援」の向上とし、オンライン相談を積極的に提案、高齢者などオンラインが出来ない場合には感染予防対策を講じ、少人数、短時間での面談とした。

2021年度から開始した小児慢性特定疾病自立支援事業の充実とし、個別支援においては保健所や医療など各種関係者と連携支援を実施。当事業の周知とし学校関係や小児科などへの周知活動を開始。まだ薬局やその他関係機関への広報には至っておらず次年度も継続が必要。

2) 障害福祉サービス事業

B型就労事業所の開設を狙う「沖縄指笛」制作を難病患者さんに提供することは、コロナ禍で市場の停滞から積極的に実施できていない。また、情報通信技術（ICT）を活用した難病患者への在宅就労支援として会報誌寄稿・制作を小人数ではあるが継続している。利用者の通所ニーズとして「難病患者交流」の場を提供しているが持続可能な事業形態は見いだせていない。

3) 難病に関する周知啓発活動

これまで通り、難病情報提供を目的に難病情報誌の毎月発行を継続。更にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用しイベント等の周知と拡散を始めた。当団体の紹介カードを作成し関係機関に配布設置を協力依頼していることは次年度も継続が必要。

II 事業の実施に関する事項

2021年度 特定非営利活動に係る事業

認定NPO法人アンビシャス

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (税抜き)
1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A) 沖縄県委託事業 B) 沖縄県補助事業 C) 沖縄県小慢自立支援 D) 那覇市小慢自立支援 E) 患者会支援等 F) 各種関係機関連携 他	通年	事務局 又は 各自宅等	A) 4名 B) 4名 C) 4名 D) 4名 E) 5名 F) 6名	A) 相談件数 1408件 B) 貸与累計 25件 C) 相談件数 91件 D) 相談件数 26件 E) 広報支援 18団体 F) 医療相談会 36組 看護学生実習 16名 支援者研修 100名 災害自助力 50名 ピアサポート 10名	14,629 (内県委託 8,842)
2) 障害者福祉サービス事業	沖縄指笛製作 会報誌 ICT 寄稿・編集	随時	事務局	3名	製作作業員 2名 寄稿各月3名+2名	3,361
3) 難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動（会報誌発行、WEB、SNS他） 世界希少難治性疾患の日	通年 2/26	事務局	5名	会報誌発行部数 年間延べ 19,200部 参加申込 112名	4,035
4) その他目的を達成するための事業						

支出額計 22,025